

久留米市自殺対策計画(素案)に対する意見の概要及び市の考え方 別紙

計画全般

No	意見者	該当頁	意見の概要	市の考え方
1	個人	—	趣旨、現状については、誰でも分かりやすい内容だと思う。	今後も、分かりやすい内容となるよう努めてまいります。
2	個人	—	市民のためには、セーフコミュニティと自殺対策を区別し、安全安心とは別の自殺対策、心の健康を重視した自殺対策のほうが必要であり、分かりやすいと思う。	セーフコミュニティは、様々な統計データ等を活用して、現状把握、課題分析を行い、課題解決に向けて具体的な取組を進めていくもので、自殺対策を重点分野の一つとして掲げ、市民の皆様と協働で取組を推進しております。しかし、統計データだけでは把握できない自殺の要因もあることから、今回の計画では、地域づくり等も含めた対策を推進していきたいと考えております。また、ご指摘のとおり、こころの健康づくりは自殺対策の重要な要素の一つであると認識しておりますが、自殺は様々な要因が背景にあることから、心の健康づくりとあわせて、様々な社会的要因に対する取組を進めてまいります。
3	団体	—	資料が多すぎて見にくい事や考えていかないといけない項目の多さから表記されている文言が漠然として伝わりにくいと思った。	誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現に関する施策は広範多岐にわたることから、項目が多くなっております。ご意見を踏まえ、文字の大きさを見直す等、可能な限り見やすい資料となるよう努めます。また、具体的な取り組みにつきましては、主な施策(事業)に基づき進めていきたいと考えております。事業の概要につきましては、資料編の部課別事業一覧に掲載しております。
4	団体	—	「自殺」を「自死」に変えて欲しい。 【理由】法律で定められている部分は仕方ないとしても、亡くなられた方の苦しみや悲しみを考えると言葉を選んでもらいたい。計画では「かけがえのない命が、自殺に追い込まれています」とあり、亡くなられた方や苦しみを抱えた方に寄り添って課題を解決しようとする行政の姿勢が見えるので、「自死」を使う方が良いと考える。	市では、自殺対策基本法で用いられている自殺という表現を使用しておりますが、遺族に関する表現に用いる際には、遺族の心情に配慮し、「自死」を使用しております。自殺対策の推進にあたっては、自殺者やその親族に十分配慮するとともに、自殺に対する誤った認識や偏見を払拭するため、啓発に努めてまいります。(素案のとおり)

第2章 久留米市の現状と課題

No	意見者	該当頁	意見の概要	市の考え方
5	団体	P3	自殺者は変わらず多く、全国的には毎年2万人の方が自殺に追い込まれている現実を知り、切実な問題だと思った。	未だに多くのかけがえのない命が自殺に追い込まれていることを踏まえ、これまでの自殺対策を発展させ、さらに総合的に対策を推進してまいります。
6	個人	P3	◆同居人の状況 63%に同居人がいるのに自殺が多いのは、同居している家族には言えないからだと思う。 【理由】①心配かけたくない ②自分の弱さを見せたくない ③家族に言った場合、どこの職場にもそういうことはあると言われる ④言われたら言い返せばいい ⑤もう少し頑張るとよ、強くなるとよ等と言われる、励まされる。 同調されず、励まされる事が多いのが現実。結果、悩みが増大する。	ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。

7	個人	P4	<p>◆背景にある主な自殺の危機経路 一番は、人間関係の悩みだと思ふ。この事の原因と対策をしていかなければ自殺への経路は続くと思ふ。</p> <p>【原因となるもの】①仕事を失敗及び間違った時の怒り方が強すぎる ②同じ人から何回も怒られる ③皆の前で怒られる ④挨拶しても無視される ⑤怒る人は、ある程度仕事が出来て強い人が多く、信頼されているので、その人には上司、同僚が意見を言えない ⑥味方が会社にいない、相談できなくなり、悩みが多くなる ⑦会社、家庭でも相談できず、仕事も辞められないし、頑張るけど状況は変わる事なく、病気になり、自殺の経路になっていくと思ふ(パワハラと思っただけとも言えないと思ふ)</p> <p>この危機経路をなくすためには、原因となる人を特定し、会社が注意する。さらに強くなるのであれば、パワハラで訴えるしか方法はないのかなと思ふ。</p>	自殺の背景には、ご意見をいただいた人間関係をはじめとして、統計データには表れない様々なものがあると認識しております。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。
8	団体	P5	<p>◆ネットワークづくり 3行目「…強化に繋がっています。」の後に「しかし、久留米市の自殺の特徴を考慮すると高齢者の相談窓口の地域包括支援センターなどとのネットワークづくりも必要でした。」を挿入。</p> <p>【理由】P4で示された地域自殺実態プロフィールでの久留米市の自殺の特徴は、60歳以上の高齢者が多く、その相談窓口との連携は欠かせないと考える。</p>	「②ネットワークづくり」に記載している「関係機関・団体」の中には、地域包括支援センターも含んでおります。今後も継続して関係機関等との連携を図るとともに、高齢者への支援の充実を図ってきたいと考えております。(素案のとおり)
9	団体	P6	<p>◆自殺の現状とこれまでの取組から見える課題 3行目「…はなく、世代・性別や抱える課題…」と下線部分を挿入。</p> <p>【理由】P3の自殺の現状では男女別に記述されている。課題は男女別に捉えてほしい。</p>	世代や性別等、一人ひとりが抱える課題に応じた施策の展開が必要であることから次のとおり修正いたします。 【修正前】世代や抱える課題に応じた施策 【修正後】世代や性別等、一人ひとりが抱える課題に応じた施策
10	団体	P6 ～ P7	<p>◆社会構造における課題 7ページ3行目「そのため、市民が地域住民相互の関わり合いを持ち、不安や悩みを気軽に話せるような地域づくりを共に考えていくとともに、全ての市民がそれぞれ役割を持ち、地域のかげがえのない担い手であるという意識の醸成を図り、つながり支え合う社会をつくることが求められます。」を削除。</p> <p>【理由】地域づくりの視点はもっともであるが、地域住民を市民の役割や担い手と行政が位置づけたり、意識を醸成したりすることは、内面の自由を侵すことにはならないだろうか。行政としてすべきことは、必要な支援を整えることに限るべきと考える。</p>	国の自殺対策の指針となる「自殺総合対策大綱」において、地域共生社会の実現に向けた施策は、自殺対策と共通する部分が多くあり、両施策を一体的に行うことが重要であるとされています。本市の自殺対策においても、地域共生社会の実現に向けた取組は重要であるとされており、誰も排除されず、つながり、お互いが支え合い、それぞれが役割を持てるような社会づくりを推進してまいります。(素案のとおり)
11	団体	P7 ～ P9	<p>◆生活背景や世代における課題 中高年男性の項目があるのと同じように“女性”の項目を新たにたてること。</p> <p>【理由】久留米市自殺対策計画【資料編】における結果をみても、女性が抱える問題等の背景にジェンダーの問題が明確に表れており、第5章 自殺対策における取組(こども項目だてが必要)につなげるためにも、現状と課題の中に女性に関する項目だてが必要だと考える。</p>	自殺対策は、世代・性別にかかわらず対策が必要であると考えておりますが、本市において、40歳代、50歳代男性の自殺者が最も多く、特に50歳代男性の自殺死亡率は、全国と比べてもかなり高くなっております。そのため、特に重点的に取組む課題として中高年男性をあげております。しかし、ご指摘のとおり女性の自殺の背景にある課題への対応も重要であるとと考えておりますので、各施策の中で丁寧に対応をしていきたいと考えております。(素案のとおり)

12	団体	P8	<p>◆高齢者 4行目「…介護・看護疲れ等の様々な要因があります。また、長年の固定的性別役割分担による生活に起因する男性の家事等における自立の欠如、女性の経済的自立の欠如が様々な困難につながっているとも考えられます。」と下線部を挿入する。 【理由】高齢になるとジェンダー意識による弊害が特に表面化すると考えられるため。</p>	<p>実際の事例に基づいた要因を例示として記載したものです。ご意見は、今後の自殺対策における参考とさせていただきます。(素案のとおり)</p>
13	団体	P9	<p>◆子ども・若者 4行目「…対処方法や支援先に関する情報を、早い時期から身に付けるとともに自尊心の…」を「…対処方法を身に付けるとともに支援先に関する情報を知り、自尊心の…」に変更。 【理由】問題の対処方法と情報の処理の仕方は違うため。</p>	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正いたします。 【修正前】対処方法や支援先に関する情報を、早い時期から身に付けるとともに 【修正後】対処方法を身に付けるとともに、支援先に関する情報を知り</p>

第4章 自殺対策の数値目標

No	意見者	該当頁	意見の概要	市の考え方
14	団体	P13	<p>2行目「自殺者ゼロを目指します」を「自殺に追い込まれる人ゼロを目指します」に変更して欲しい。 【理由】この計画のサブテーマにあるように「誰も自殺に追い込まれることのない久留米市の実現」はとても重要であり、個人の問題でなく社会構造や個人に覆い被さる複合的な課題に目を向け、それを取り除こうとする基本的な考え方はすばらしいと思う。個人が自分で死を選んでいるように見えても、社会的なサポートがあれば避けることができるものがほとんどではないだろうか。その意味でも表現を変更した方が好ましいと考える。</p>	<p>自殺に追い込まれる人ゼロを目指して取組を推進してまいりますが、取組の成果を客観的に把握できる自殺者の数(率)を数値目標に設定していることから、このような表記としております。(素案のとおり)</p>
15	団体	P13	<p>「自殺者ゼロを目指す」という目標は、素晴らしいと思う。</p>	<p>市民一人ひとりの尊いいのちが自殺という形で失われることのないよう、自殺者ゼロをめざして取組を進めてまいります。</p>

第5章 自殺対策における取組

No	意見者	該当頁	意見の概要	市の考え方
16	個人	P16 P18	<p>15～39歳の自殺が死因の1位であることから、若者への自殺対策が急務だと思う。電話やメール、ラインなど、若者だけの相談日や方法など、相談しやすい体制が整っていると良いと思う。訪問も必要に応じてできると良いと思う。</p>	<p>若者への自殺対策は、重要な課題であるとの認識のもと、自殺対策における取組の重点対象者として「子ども・若者」をあげております。若者が日常的に利用するLINE等のSNSによる相談は重要であると認識していることから、国や各種団体が実施しているSNSでの相談窓口の周知を図っていきたいと考えております。今後も若者が相談しやすい体制及び効果的な周知啓発について検討を進めてまいります。</p>
17	個人	P16 ～ P24	<p>基本施策について、「推進する」「連携する」が多く、具体的な方策があまり示されていないように感じる。</p>	<p>自殺の背景には様々な要因があるため、これら保健・医療・福祉・教育・労働など様々な機関や施策が分野を越えた連携を行うことが重要であると考えており、「推進」「連携」という表現が多くなっております。 具体的な取組については、主な施策(事業)に基づき、進めていきたいと考えております。事業の概要につきましては、資料編の部課別事業一覧に掲載しており、その旨を【主な施策(事業)】の注釈として追記いたします。</p>

18	個人	P17	<p>◆相談窓口情報等の発信 相談ができれば自殺までは考えないと思うので、相談できる場所があるという事を分かってもらうため、情報を多く出すように考えていかなければならないと思う。</p>	<p>あらゆる機会を通して、様々な悩みに関する相談窓口の周知啓発を図ってまいります。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。</p>
19	団体	P17	<p>◆高齢者への支援の充実 4行目「取り組みます。また、女性の自殺者数が高齢者に偏っている傾向があるため、高齢女性の抱える経済面・健康面などの課題についての支援の充実を図ります。」と下線部を挿入。 【理由】女性の自殺者数は60歳以上に偏っている。平成28年は60歳代以上の女性の自殺が増加している。全国と比較して久留米市の70歳代女性の自殺死亡率が高くなっている。これらの統計結果から高齢女性に焦点を当てた対策を講じるべきと考えるため。</p>	<p>ご指摘のとおり女性の自殺者に対する高齢者の割合は高くなっておりませんが、健康問題は、高齢者の自殺の要因として男女共通の課題となっております。このため、健康問題に対して気軽に相談できるよう相談体制の充実を図る等、高齢者全体の取組として進めてまいります。(素案のとおり)</p>
20	団体	P19	<p>◆人権を守る取組の充実 1行目「女性」から「性的少数者等」までについて、性別集計を密にすること。 【理由】体も心も違い、生き方も死に方も違うであろう多くの人から学べることはないのか。それを政策に活かすことが求められる。</p>	<p>今回の計画策定資料においては、可能な限り男女別集計に努めておりますが、データの把握ができないものもございます。統計のないものについては、当事者の方との意見交換の機会等を通して、実態把握に努めてまいります。</p>
21	団体	P19	<p>◆人権を守る取組の充実 4行目「自殺念慮の割合が高いことが指摘されている性暴力被害者やセクシャル・マイノリティ…」と下線部分を挿入。 【理由】性暴力被害者は自殺未遂を繰り返すことが多く、寄り添いとともに社会的に支援していくことが大切。</p>	<p>人権課題の例を記載したものです。性暴力被害者への支援については、「サ 虐待や犯罪被害者等への支援の充実」において整理しております。(素案のとおり)</p>
22	団体	P21	<p>遺族支援については、遺族自身も自死ハイリスク者として捉えていただき、個別支援を継続的に行っていただきたい。 家族を亡くしてから回復まで年単位での関わりが必要な方が多い。例えば、眠れないので病院に行きたい。法律相談に行きたいがうまく相談できない。一緒について来て欲しい。話を聴いて欲しい。外出もできないくらい落ち込んでいる。ご飯も食べられず、かなりやせてしまった。自宅を訪問して話を聴いて欲しい。などの要望がある。 行政にアクセスしやすい広報をお願いする。</p>	<p>遺族支援につきましては、気持ちに寄り添い、ニーズに合わせた個別相談に対応し、各種支援機関等と連携し、継続的な支援に努めてまいります。また、あらゆる機会を通して、行政機関をはじめ、各種相談先や関連情報等必要な情報の周知を行ってまいります。</p>
23	個人	P22	<p>◆自殺対策に係る人材の確保、育成及び資質の向上を図る ゲートキーパーの認知度も低く、誰がどのようにしているのかも分からないので、民生委員にゲートキーパー研修を受けてもらい、民生委員＝ゲートキーパーとなると、孤立者やひきこもりに対しても十分対応できるのではないかと思います。</p>	<p>ゲートキーパーの啓発については、市民や民生委員をはじめとした各種団体へ実施しておりますが、今後も、様々な分野への啓発を継続し、地域の様々な課題に対応できるような環境を整えていくとともに、併せてゲートキーパーの認知度向上に努めてまいります。</p>

24	個人	P22	<p>◆自殺対策に係る人材の確保、育成及び資質の向上を図る 相談を受ける人もなるべくならば、危機経路を経験し、立ち直った人が適任ではないかと思う。 (ゲートキーパーも同様)</p>	<p>ゲートキーパーは、あらゆる市民を対象としており、一人ひとりが役割を持ち、支えられる側であった人も支える側として活躍できるような互いにつながり・気づき・支え合う地域づくりを推進していきたいと考えております。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。</p>
25	団体	P23	<p>◆自殺対策に係る人材の確保、育成及び資質の向上を図る 1行目「…実施し、支援の在り方や地域との連携の在り方なども含む自殺や自殺関連…」と下線部分を追加挿入。 【理由】自殺対策に関わる人の資質の向上については、基本施策4で市民に求めていること「…普及啓発を行います。自分の周りにいるかもしれない自殺を考えている人の存在に気づき、また、相談に来訪した人の様子や内容に耳を傾け、その思いに寄り添い、声をかけ、じっくり話を聴き、必要に応じて専門家につなぎ、最後までその相談者を見守り続けることを、実行していくことを第一に掲げて取り組みます。」こそ、専門に携わるに求められるべき資質と考える。</p>	<p>ご指摘の内容につきましては、自殺対策に係る人材の育成及び資質向上のために重要な視点であると認識しておりますので、第3章の基本方針「(3)自殺対策を支える人材を育成する」において整理しております。(素案のとおり)</p>
26	団体	—	<p>生きる支援の充実について。 自殺したいと思うずっと以前に、生活していて何かにつまづいても、色々な選択肢があり、そのために医療だけではなく、相談することで元気になっていくシステム作りをお願いする。</p>	<p>自殺の多くは、多様かつ複合的な要因及び背景を有しているため、その背景にある課題に応じた丁寧な取組を進めてまいります。また、地域全体で支え合う、生きることの包括的な支援として取り組んでまいります。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。</p>
27	個人	—	<p>心の相談は、市の保健師か社会福祉士が、いつでも、誰でも相談できるような体制を整える。それから、専門家につなぐようにすると、安心して相談できる。今でも相談できると思うが、心が病んでいると、専門家に相談する勇気はないと思う。</p>	<p>現在、心の悩みや不安を抱えた方に対して、保健師や精神保健福祉士による、電話や対面等による相談、精神科医による対面相談を実施しております。相談内容に応じては、関係機関につなぐ等の対応を行っています。また、自ら相談に行くことができない人もいることから、自分の周りにいるかもしれない自殺を考えている人の存在に気づき、声をかけ、話を聴き、必要に応じて専門家につなぎ、見守っていくという「ゲートキーパー」の役割について周知を図ってまいります。 ご指摘のとおり、気軽に相談できる場所は必要であると考えております。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。</p>
28	個人	—	<p>一人暮らしが増えて、地域の繋がり、家族の繋がりが少ない人が多い。相談できる人、場所を知らない人がほとんど。また、地域の民生委員をほとんどの人が知らないの、とても民生委員に相談できるとは思えない。その他に自殺の相談窓口があると良いと思う。</p>	<p>相談窓口の周知啓発を進めていくとともに、つながり支え合う地域づくりを推進していきたいと考えております。また、自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しているため、様々な生きる支援にあたる人々がそれぞれ自殺対策の一翼を担っているという意識を共有し、関係機関同士が連携していくことで対応できるよう意識の醸成を図っていききたいと考えております。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。</p>
29	団体	—	<p>社会的弱者が世の中に多く存在しており、どこに行ったら答えを出してくれて、助けてくれるのか、知りたくても知る術がない人がたくさんいるのではないだろうか。 また、相談する人、機関の人、場所が本当に安全で安心できるのかという事がどうしたら分かるのか。</p>	<p>あらゆる機会を通して、様々な悩みに関する相談窓口の周知啓発を図ってまいります。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。</p>

30	団体	—	うつ病になった方の復職支援の充実をお願いする。	労働者が働きやすい職場環境づくりを促進するとともに、理解を深めるための啓発を行ってまいります。また、関係機関等とも連携し、相談者に寄り添った支援を行ってまいります。
31	団体	—	働いている人が気軽に相談できる場所、若い世代の働いている人が相談できたり、交流できたりする場所。土日に行ける、気軽に話せる場所の啓発。 労働と市の行政が連携して、働いている若い世代の自殺を防ぐ対策をしてほしい。	働いている人が相談しやすいよう、相談体制の充実が必要だと考えております。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。
32	団体	—	教育の場から、「子どもの頃から相談することの大切さ」、「自分の気持ちを相手に伝えることの大切さ」が学べる機会があることを望む。	児童生徒に対し、ご意見の内容を踏まえたSOSの出し方に関する教育を実施してまいります。
33	個人	—	自助グループを作る。 悩んでいる当事者同士の支え合い、話すことにより解決の糸口が見つかるかもしれない。	同じ困りごとを抱えた当事者同士の支え合いは重要であると認識しておりますので、自助グループ支援に努めてまいります。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。
34	団体	—	「生きづらさ」を手放し、安心して支え合っているネットワークづくりをこれからもっと拡散して行って欲しいと思う。	安心して支え合っている社会づくりは必要であると認識しております。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。
35	団体	—	自殺の要因にはジェンダー問題が底辺に大きく関わっているため、この計画に関連するあらゆる研修で、その内容にジェンダー問題を組み込むべきだと考える。	本計画の実施にあたっては、「久留米市男女共同参画行動計画」をはじめ他の関連計画等との整合を図りながら取り組みを進めてまいります。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。
36	団体	—	人が人との違いを認め合って、許し合っている世の中になるよう、行政の方達は、もっと分かりやすい方法で啓発を行って行って欲しい。	多様性を尊重し、共につながり支え合う地域づくりは重要であると認識しております。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。
37	団体	—	市民に身近に感じられる広報をお願いする。	市民のみなさまに分かりやすくお伝えするのが広報の大きな目的であると認識しております。今後も様々な機会を通して、普及啓発に努めてまいります。

その他

No	意見者	該当頁	意見の概要	市の考え方
38	団体	—	私達市民も一人ひとりが優しく無理なく支え合っているように行動していけたらいいと思う。	市民一人ひとりが共につながり支え合う地域づくりを推進してまいります。ご意見は、今後の事業実施における参考とさせていただきます。
39	個人	—	計画概要を、広報誌に頼らず、コンビニや若い男性・子どもたちが読める場所に配布するとよいのではないかと。若い人は、広報誌を見ない人が多い。また、マンション、アパートでは配布されていないところが多いため。	多くの方に読んでいただけるよう、計画の配布先については、検討を行います。

40	個人	—	<p>自殺問題の解決は、社会構造や地域資源の活用や地域の力等を総動員して柔軟かつダイナミックに永続的發展を視野に考えた。自殺の原因や動機は警察庁自殺統計に基づき考えてみた。健康を軽んじた結果、病に至ると見立てた。突然死、孤独死、事故死等にも多分に栄養状態等が関係していると思う。</p> <p>よって、健康の基本は、食事とみなした上で、「うつ」の場合を例にあげれば、食事に対応は可能であることは、今や周知事実であろう。</p> <p>であるならば、その病名病状に対応した食事の現物支給(ベーシックインカム)の現物支給型)をすることで、経済的問題も同時解決とも言える。</p> <p>また、郷土(区)の力の見守り隊も区民から比較的親しい栄養面でも似ていて共有できる人に、この方にも現物支給して、お互いが共有して、結果、見守り、寄り添うこととなる。</p> <p>また、行政支援である協働の延長線上の先に、専門家として、その区に住所を移動してもらい、そして定年後はスーパーボランティアとして参画。</p> <p>以上から、生みだされた原資と、結果健康になれば、軽減された周辺費用は、対価はベーシックインカムとして地域に還元、支給することが可能。</p> <p>スーパーボランティアが行政の専門家として、役目を継続して果たすことから、行政コストが丸々下がるから、これもベーシックインカムとしてその区民の低年金の方々に活用する。</p> <p>ひいては、その分は消費にまわるので、経済拡大に貢献する。</p> <p>また、健康で安心安全な農産物の地産地消の拡大、地球にやさしい土地づくり、自然づくりに郷土をあづかる区民として傾注できる。</p>	<p>市内の自殺者を原因・動機別に見ると、「健康問題」が多くを占めており、ご指摘のとおり、地域を巻き込んだ健康問題への取組は重要な課題であると認識しております。「健康くるめ21」をはじめとしたほかの関連計画とも連携を図り取組を進めてまいります。</p> <p>また、自殺は、その多くが追い込まれた末の死であり、防ぐことができる社会的な問題であるとの認識のもと、市民、様々な分野の専門家、行政が一体となり相互に連携・協働し、取組を推進することで、誰も自殺に追い込まれることのない、「いのち支え合うまち くるめ」の実現を目指してまいります。</p>
----	----	---	--	--